



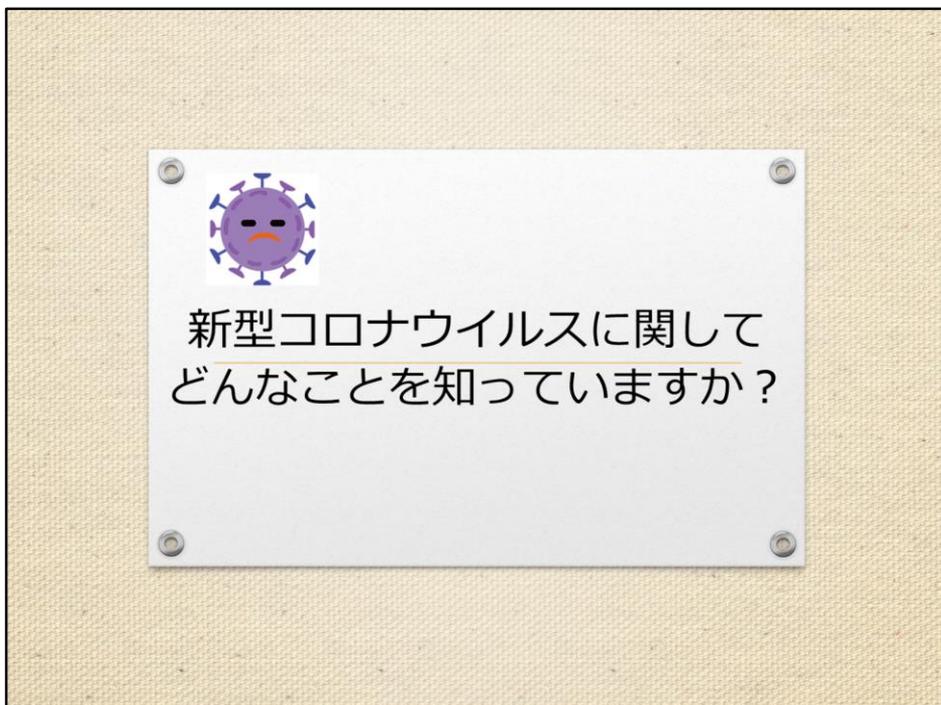
コロナいじめ防止教材（中学校版）

【実施時間】 上の巻（20分程度） 下の巻（20分程度）

※上の巻と下の巻を通して実施可

【ねらい】

新型コロナウイルス感染症の3つの負の連鎖を理解し、それを断ち切るためにできることを自分ごととして考え、行動につなげようとする。



- 1 新型コロナウイルスに関して、知っていることを共有しあう。  
(留意点)
  - ・どんな意見でも受け入れることに留意する。
  - ・事実ではない情報の場合、事実かうわさかを確認することが必要であることをおさえる。
  - ・気になる様子の子どもには、その場でことばがけを行い、後で必ず個別に気持ちを聞くなどする。

1  **ソーシャル  
ディスタンスは友情**  
離れて!  
(2m・最低でも1m) 離れていても  
こころの距離は0メートル

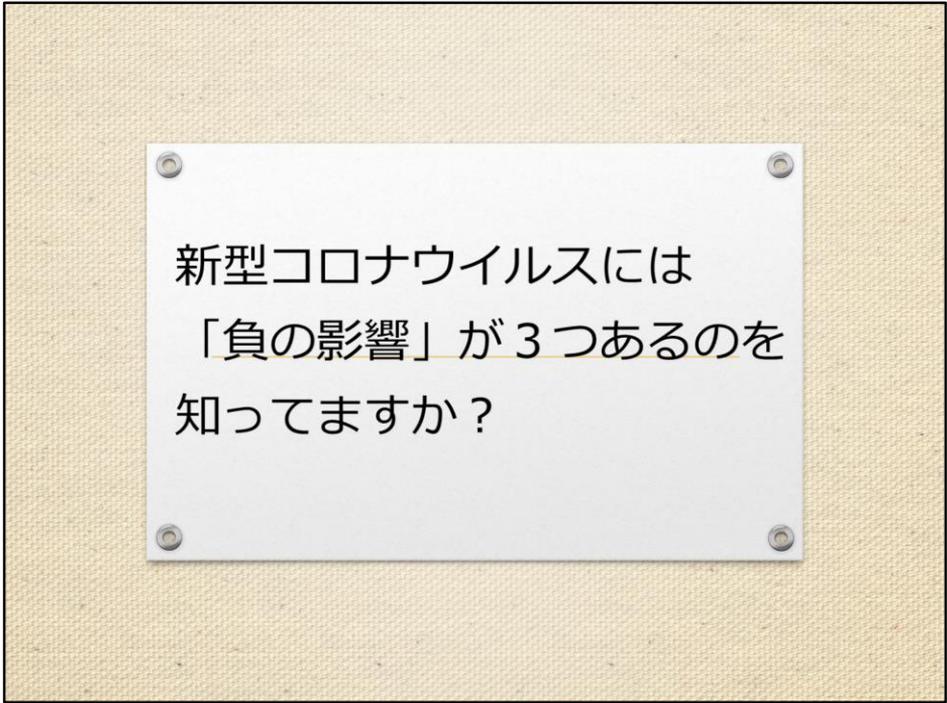
2  **マスクは身だしなみ**  
笑顔は伝わります

3  **いつでも  
どこでも30秒**  
Good-bye ウイルス!

などで**感染しにくく**なりますが  
まだ、**わからないこと**がたくさん！

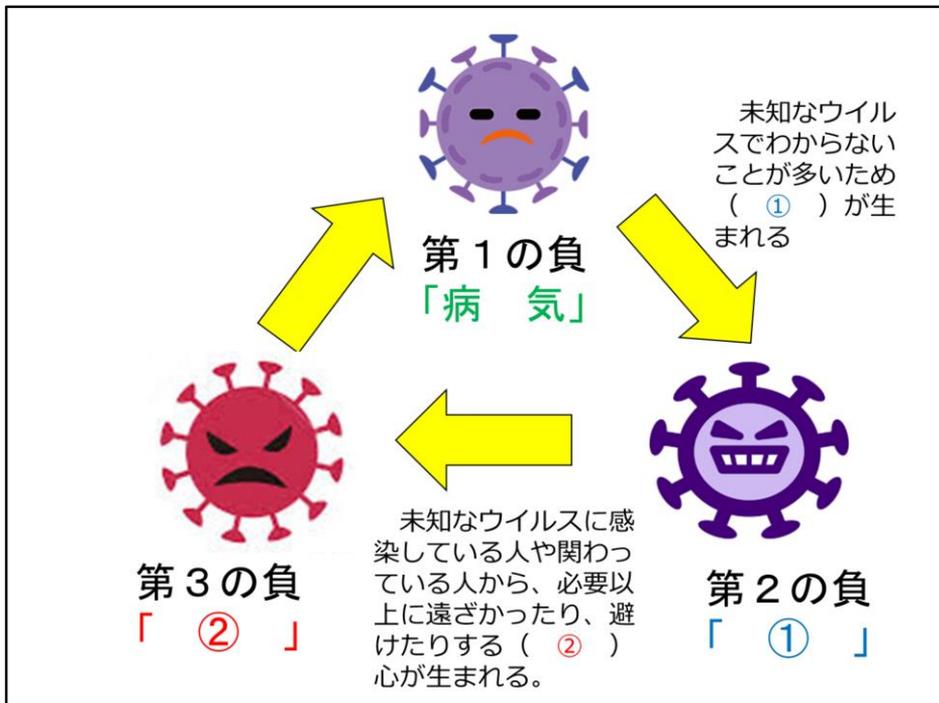
(留意点)

・手洗い等で感染しにくくなることはわかっているが、まだまだ、わからないことが多いことをおさえる。



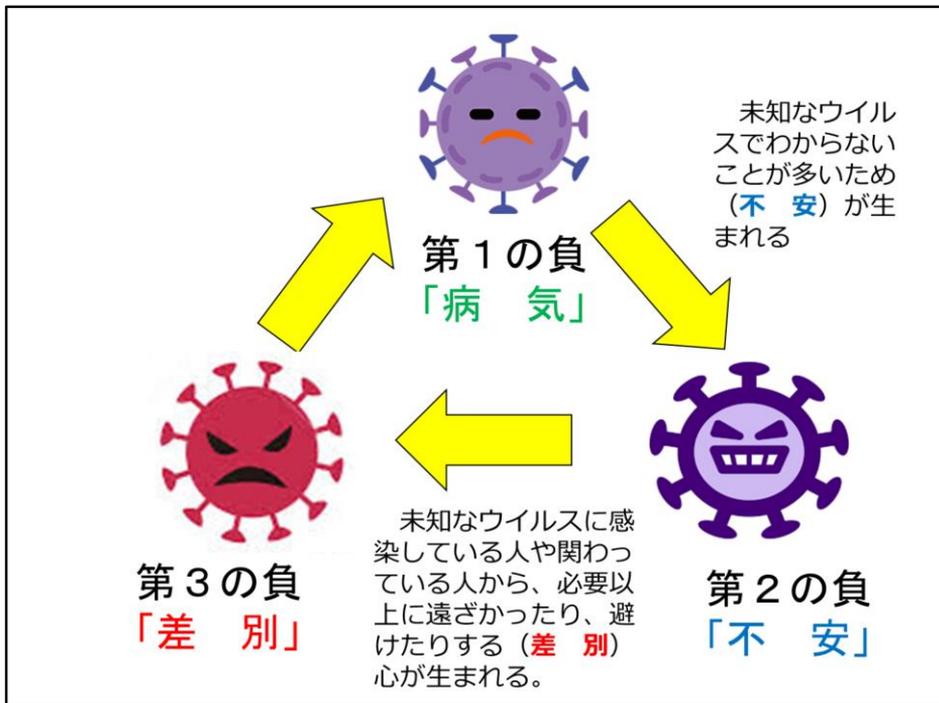
新型コロナウイルスには  
「負の影響」が3つあるのを  
知っていますか？

2 新型コロナウイルスには、病気を含め、負の影響が大きく3つあることを考える



(留意点)

・第一の負は「病気」として紹介しながら、矢印の間のつながりの言葉をヒントに第2と第3の負を考える。

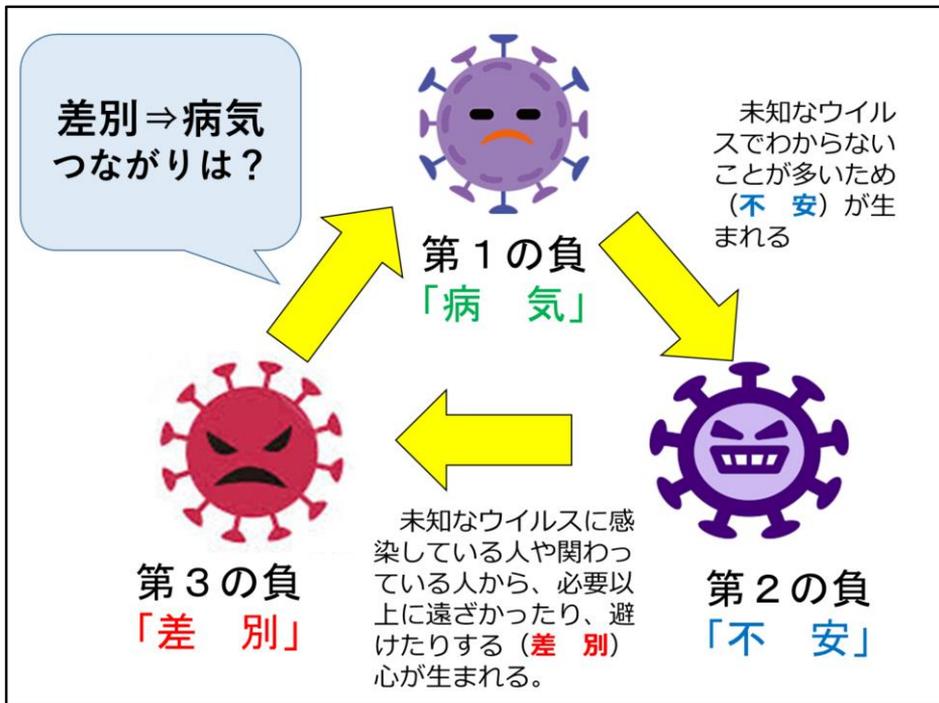


(留意点)

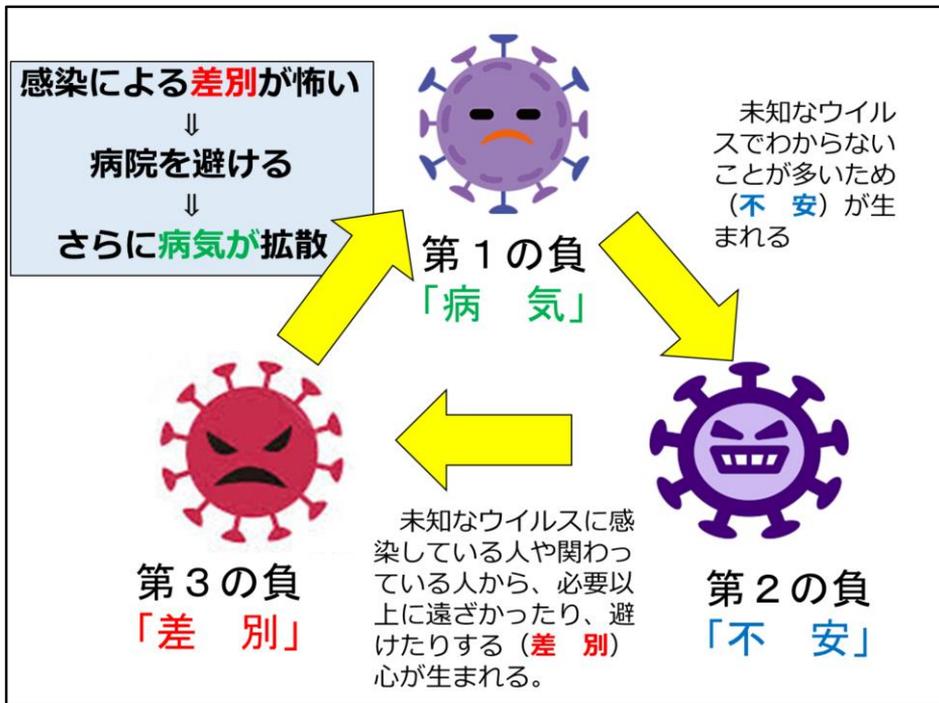
・第2と第3の負を押さえる。必ずしも「不安」や「差別」だけではないことを留意する。生徒の声を大切にする。

例) 第2の負…恐怖など

第3の負…偏見など

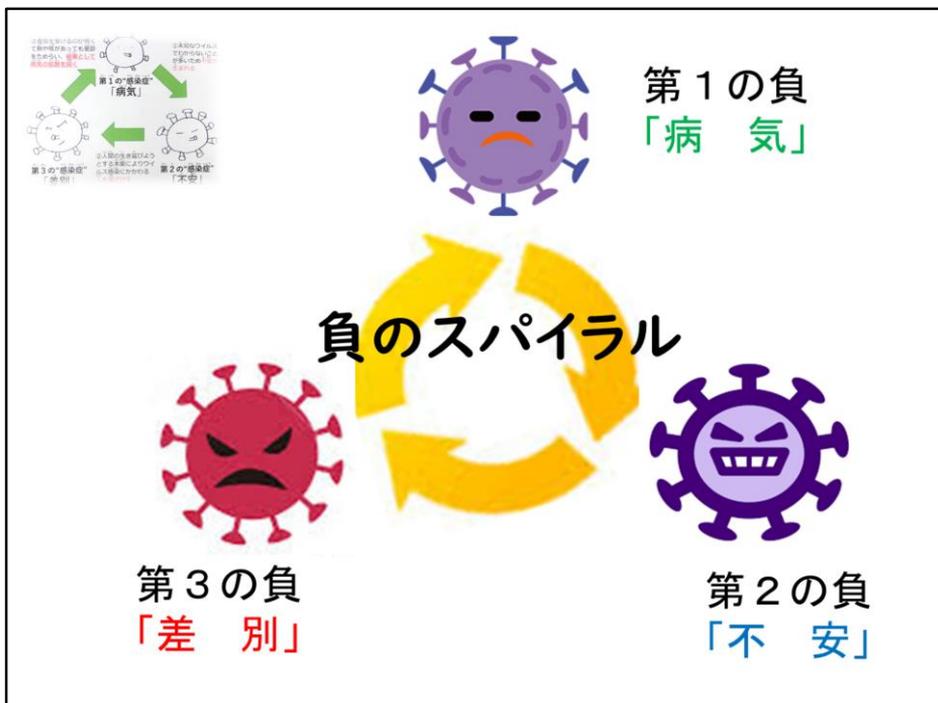


3 第3の負と第1の負をつなげているものは、どんなことか考える。



(留意点)

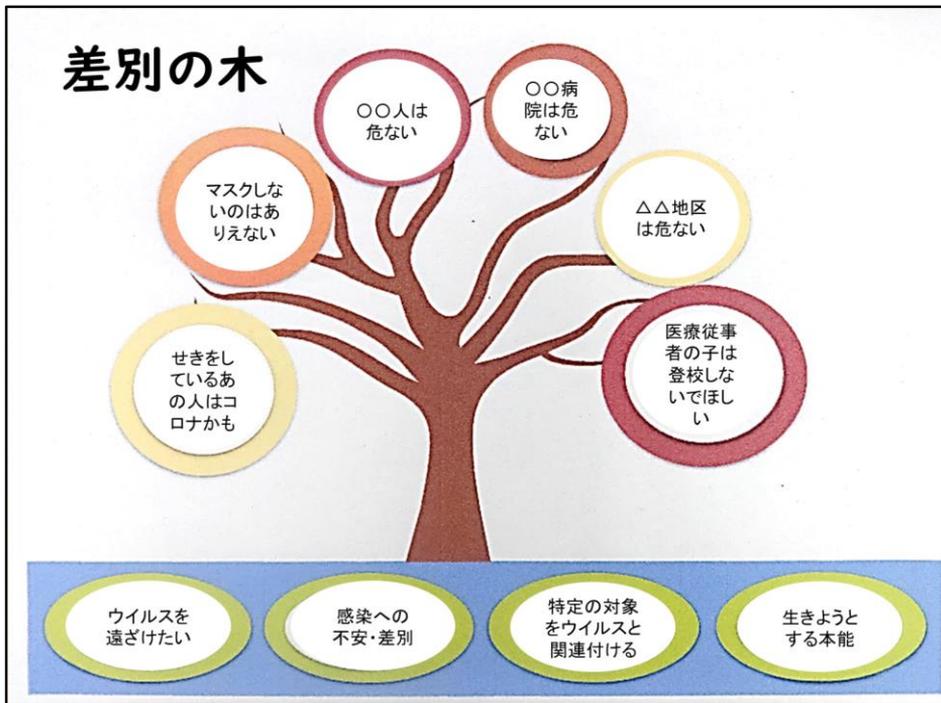
・コロナ感染による差別を受けるのが怖いから、病院に行くことを避け、よりいっそう病気が広まることになる可能性があること等を紹介する。



4 負のスパイラル（悪循環）が生じてしまうことをおさえ、どんな不安や差別が生まれるか考え発表する。

（留意点）

・生徒の発表を板書していく。（実態に応じて次頁の「差別の木」を参考スライドとして紹介してもよい）



(参考スライド)

- ・ 生徒の実態に応じて紹介する。



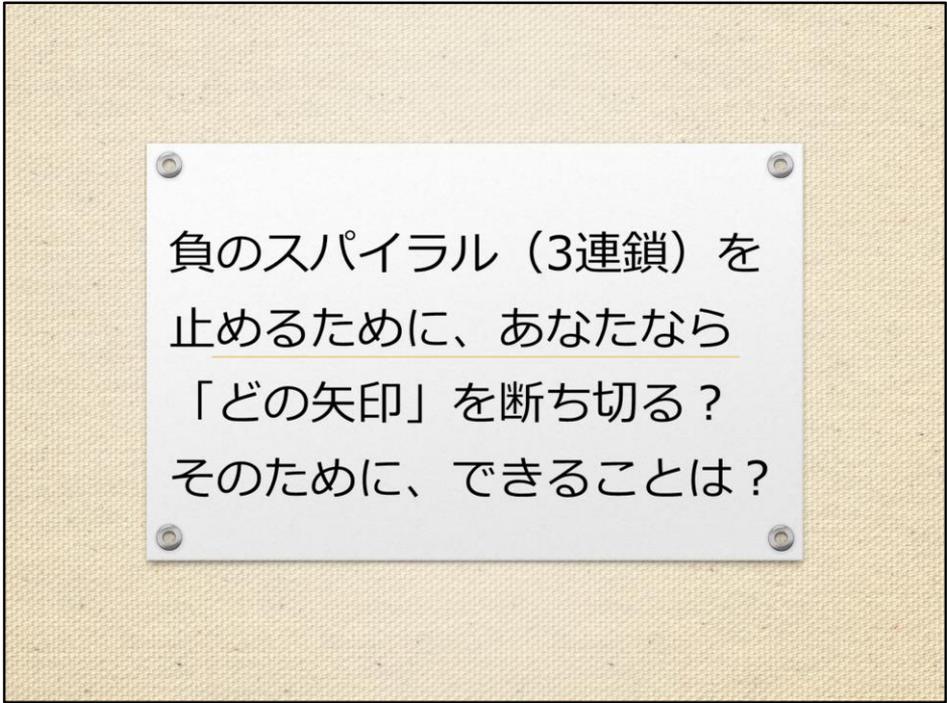
コロナいじめ防止教材（中学校版）

【実施時間】上の巻（20分程度）下の巻（20分程度）

※上の巻と下の巻を通して実施可

【ねらい】

新型コロナウイルス感染症の3つの負の連鎖を理解し、それを断ち切るためにできることを自分ごととして考え、行動につなげようとする。

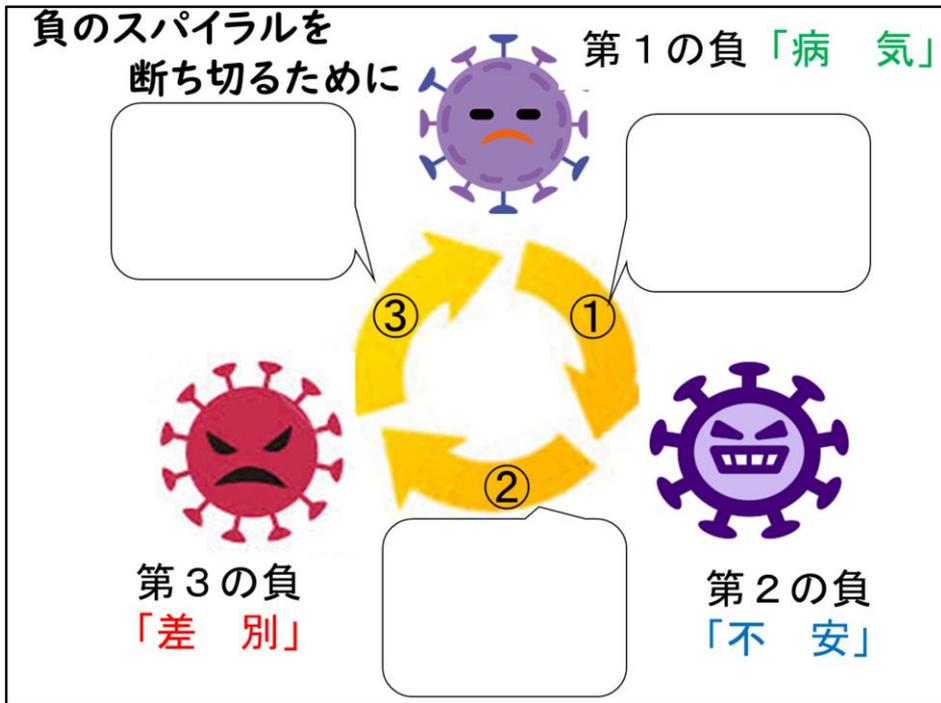


負のスパイラル（3連鎖）を  
止めるために、あなたなら  
「どの矢印」を断ち切る？  
そのために、できることは？

5 負のスパイラル（3つの連鎖）を止めるために、あなたなら、①～③のどの矢印を断ち切るか選択し、その方法を考える。

（留意点）

- ・自分も差別する側にもされる側にもなりえることを押さえておく。
- ・生徒の実態にあわせて、参考資料として日本赤十字社の動画「コロナの先にあるもの」を視聴してから展開してもよい。（10分程度）



(留意点)

- ・生徒の意見を板書する。

## 第1の負「病気」を防ぐために

「手洗い」

「咳エチケット」

「人混みを避ける」



(ここからのスライドは、生徒の実態に合わせて紹介する)  
第1の負「病気」を防ぐためには1人1人が衛生行動を徹底する。  
「手洗い」「咳エチケット」「人混みを避ける」ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけでなく周り人にもすることが大切である。

## 第2の負「不安」を防ぐために

### まず、自分を見つめよう



- ・ 深呼吸 お茶を飲む
- ・ 今の状況を整理
- ・ 自分の考え方を振り返る

第2の負「不安」を防ぐために、まずは自分を見つめてみましょう。

- ・ 立ち止まって一息入れる。（深呼吸、お茶を飲む）
- ・ 今の状況を整理してみる。
- ・ 自身をいろんな角度から観察してみる。（考え方、気持ち、ふるまいなど）

## 第2の負「不安」を防ぐために

### いつもの自分と違う所を問う！

- ・ 悪い情報だけに目が向いてないか
- ・ 何かと感染症に結びつけてないか
- ・ 趣味の時間や交流が減ってないか



次に、いつもの自分と違う所を問うてみましょう。

- ・ ウイルスに関する悪い情報ばかりに目を向けていませんか？
- ・ なにかと感染症に結び付けて考えていませんか？
- ・ 趣味の時間や親しい人と交流が減っていませんか？
- ・ 生活習慣が乱れていませんか？

## 第2の負「不安」を防ぐために

### 自分の安全や健康のために 必要なものを選択する



- ・ 情報にさらされるのを制限し、  
距離を置く時間作る。
- ・ 今自分ができていることを認める。
- ・ 安心できる相手とつながる。

最後に、自分の安全や健康のために必要なことを見極めて自ら選択してみましよう。

- ・ ウイルスに関する情報にさらされるのを制限し、距離を置く時間作る。
- ・ いつもの生活習慣やペースを保つ。
- ・ 心地よい環境を整える。
- ・ 今自分ができていることを認める。
- ・ 今の状況だからこそできることに取り組んでみる。
- ・ 安心できる相手とつながる。

## 第3の負「差別」を防ぐために

- ・ 確かな情報を把握する
- ・ 差別的な言動に同調しない
- ・ 事態に対応している人々を  
ねぎらい、敬意を払う



第3の負「差別」をふせぐためには「確かな情報」を把握し、差別的な言動に同調しないようにしましょう。

また、この事態に対応している（次の）すべての方々にねぎらい敬意を払いましょう。

例) 小さな子どもがいる家庭、高齢者、治療を受けている人とその家族、自宅待機している人、医療事業者、日常生活を送って社会を支えている人



## 6 今日の授業を振り返る

(まとめとして下記のことを伝えてもよい)

- ・コロナウイルスの感染は誰にでも起こり得るので感染してしまった子ども達に落ち度はないこと
- ・コロナウイルスとの戦いは、長期戦になる可能性があり、3つの負をみんなで乗り越えてくために、それぞれの立場でできることを行い、みんなが1つになつて負のスパイラルを切ること。